

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月8日

上場取引所 JQ

上場会社名 北雄ラッキー株式会社
 コード番号 2747 URL <http://www.hokuyuu-lucky.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川端 敏
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 後藤 扶美彰

TEL 011-643-3301

四半期報告書提出予定日 平成22年10月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	21,540	—	46	—	△30	—	129	—
22年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	19.99	—
22年2月期第2四半期	—	—

(注)当社は平成23年2月期第1四半期より非連結となっているため、平成22年2月期第2四半期の経営成績(累計)及び平成23年2月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	19,287	3,949	20.5	624.56
22年2月期	19,079	4,089	21.4	629.83

(参考)自己資本 23年2月期第2四半期 3,949百万円 22年2月期 4,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	—	442	—	310	—	250	—	38.50

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

当社は平成23年第1四半期より非連結となっているため、対前期増減率については記載していません。

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 6,323,201株 22年2月期 6,645,770株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 一株 22年2月期 152,569株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 6,482,114株 22年2月期2Q 6,643,201株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(第2四半期累計期間)	7
(第2四半期会計期間)	9
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
「参考資料」	14
(1) 連結貸借対照表	14
(2) 四半期連結損益計算書	16
(第2四半期連結累計期間)	16
(第2四半期連結会計期間)	17
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	18

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

当社は、連結子会社でありましたエル食品株式会社及び株式会社アップルを平成22年3月1日付をもって吸収合併し、連結子会社がなくなったため、平成23年2月期第1四半期より連結財務諸表を作成しておりません。そのため、前年同四半期との比較・分析については記載しておりません。

なお、「(2) 財政状態に関する定性的情報」については、前連結会計年度末との比較を行っております。

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(平成22年3月1日～平成22年8月31日)におけるわが国経済は、国内外の経済対策や輸出拡大等により企業収益の改善、設備投資の下げ止まりなど緩やかな景気持ち直しの動きが見られたものの、雇用環境や所得情勢などは依然として改善が見られず、欧州での金融危機や急激な為替円高など新たな不安要因も生じ、不透明感を払拭することができず、景気回復は予断を許さない状況が続いております。

スーパーマーケット業界におきましては、消費者の節約志向・低価格志向の継続を背景に、業種・業態を超えた企業間の価格競争やポイントサービス競争が一層激化しており、客数の減少や一点単価の下落傾向が続くなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

こうした状況の中、当社におきましては、お客様の節約志向や競合他社との低価格競争に対処しつつ、集客力の向上及び売上高の確保に努めてまいりました。一方では週刊情報誌を発刊して、チラシでは伝えきれない食材の知識や料理レシピなどの情報を提供し、ディスカウント一辺倒ではない「買物」本来の楽しみを再認識してもらう試みなどを行ってまいりました。しかしながら、第1四半期会計期間(平成22年3月1日～平成22年5月31日)においては、天候不順に伴う青果物の高騰や低温続きによる衣料品の不振などが大きく影響したこと、当第2四半期会計期間(平成22年6月1日～平成22年8月31日)においては、記録的な高温多湿の天候の影響により、夏物衣料及び飲料水などの夏型商品が順調に推移し幾分の持ち直しが見られましたが、暑さによる日中客数の減少や客単価の下落傾向なども影響し、当第2四半期累計期間全体を通して売上高・売上総利益高の確保につきましては厳しい結果となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高21,540,905千円、経常損失は30,052千円、四半期純利益は子会社の吸収合併に伴う特別利益(抱合せ株式消滅差益)を152,678千円計上したため129,566千円となりました。

なお、当第2四半期累計期間における新設・閉鎖店舗はなく、3月に篠路店を4月には栗山店を改装しております。

平成22年8月31日現在の店舗数は33店舗であります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較し207,478千円増加し19,287,356千円となりました。

その主な要因は、固定資産において建物及び構築物の合計が251,919千円増加したこと、土地が400,487千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較し347,875千円増加し15,338,154千円となりました。

その主な要因は、社債が1,000,000千円増加したこと、リース債務が203,637千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較し140,397千円減少し3,949,202千円となりました。

その主な要因は、自己株式の消却により資本剰余金114,043千円減少したこと、株主配当金を51,945千円実施したことなどにより繰越利益剰余金が74,607千円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ393,116千円減少し、680,235千円となりました。

当第2四半期会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は38,013千円となりました。これは主にたな卸資産の増加41,598千円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は604,020千円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入が850,072千円あったものの、定期預金の預入による支出が740,000千円、有形固定資産の取得による支出が818,086千円であったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は248,918千円となりました。これは長期借入金の返済による支出が1,125,557千円、短期借入金の純減少が141,797千円あったものの、長期借入金の借入による収入が727,500千円、社債発行による収入が1,000,000千円であったことなどによるものであります。

(3)業績予想に関する定性的情報

当社を取り巻く経営環境は、急速な消費回復は当面望めないことから、今後も引続き厳しい状況が続くもの予想しております。

第2四半期業績につきましては、記載のとおり厳しい結果とはなりましたが、今後とも販売促進の強化、人的効率のアップ、徹底したコストの削減を継続し、売上と利益の確保に努めてまいります。

なお、当社の業績予想につきましては、現時点において平成22年4月16日決算短信にて公表いたしました数値から変更はありません。今後、変更がある場合には適切に開示してまいります。

2. その他の情報

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

（簡便な会計処理）

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 経過勘定科目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

④ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合においては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

また、前連結会計年度末以降に経営環境等、または一時差異等の発生状況に著しい変化が認められる場合においては、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

税金費用の計算

従来、税金費用については、当事業年度末の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益にこれを乗じて計算する方法により行っておりましたが、第1四半期会計期間より年度決算と同様の手法で計算する方法に変更しております。

この変更は、消費の低迷や競合他社との競争激化等により、業績予測に基づく見積実効税率の合理的算定が困難になったことから、四半期会計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に四半期財務諸表へ反映させるために行ったものであります。

この結果、従来の方によった場合に比べて、当第2四半期累計期間の四半期純利益が32,771千円増加し、繰延税金資産（流動）が36,096千円増加し、繰延税金資産（固定）が17,374千円減少しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期会計期間末
 (平成22年8月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,420,235
受取手形及び売掛金	253,323
商品及び製品	1,615,957
原材料及び貯蔵品	50,149
前払費用	129,773
繰延税金資産	119,826
未収入金	317,442
その他	5,494
貸倒引当金	△600
流動資産合計	3,911,602
固定資産	
有形固定資産	
建物	9,002,626
減価償却累計額及び減損損失累計額	△5,237,068
建物（純額）	3,765,558
構築物	569,145
減価償却累計額及び減損損失累計額	△387,955
構築物（純額）	181,189
車両運搬具	8,883
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,650
車両運搬具（純額）	233
工具、器具及び備品	464,482
減価償却累計額及び減損損失累計額	△420,008
工具、器具及び備品（純額）	44,474
土地	7,636,809
リース資産	960,508
減価償却累計額	△328,436
リース資産（純額）	632,072
建設仮勘定	6,891
有形固定資産合計	12,267,228
無形固定資産	
ソフトウェア	3,061
電話加入権	18,228
無形固定資産合計	21,290
投資その他の資産	
投資有価証券	191,443
出資金	662
長期前払費用	41,744
繰延税金資産	439,948
差入保証金	2,313,381
保険積立金	66,466
その他	1,496
投資その他の資産合計	3,055,144
固定資産合計	15,343,663

(単位:千円)

当第2四半期会計期間末
(平成22年8月31日)

繰延資産	
社債発行費	32,091
繰延資産合計	32,091
資産合計	19,287,356
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,189,347
1年内償還予定の社債	700,000
短期借入金	3,616,912
1年内返済予定の長期借入金	699,692
リース債務	206,091
未払金	299,231
未払費用	299,164
未払法人税等	17,670
未払消費税等	9,514
前受金	19,897
預り金	100,034
賞与引当金	139,417
流動負債合計	9,296,974
固定負債	
社債	1,400,000
長期借入金	2,721,950
リース債務	449,634
退職給付引当金	824,967
役員退職慰労引当金	227,641
長期預り保証金	416,414
その他	573
固定負債合計	6,041,180
負債合計	15,338,154
純資産の部	
株主資本	
資本金	641,808
資本剰余金	
資本準備金	161,000
その他資本剰余金	190,215
資本剰余金合計	351,215
利益剰余金	
その他利益剰余金	
別途積立金	2,465,000
繰越利益剰余金	491,784
利益剰余金合計	2,956,784
株主資本合計	3,949,807
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△605
評価・換算差額等合計	△605
純資産合計	3,949,202
負債純資産合計	19,287,356

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	21,540,905
売上原価	16,354,744
売上総利益	5,186,160
営業収入	
不動産賃貸収入	146,928
運送収入	409,006
営業収入合計	555,935
営業総利益	5,742,095
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	284,989
配送費	347,419
販売手数料	359,250
給料及び手当	1,065,024
賞与引当金繰入額	139,417
退職給付費用	58,979
役員退職慰労引当金繰入額	4,547
雑給	1,236,396
水道光熱費	371,491
減価償却費	265,564
地代家賃	490,212
その他	1,072,303
販売費及び一般管理費合計	5,695,597
営業利益	46,497
営業外収益	
受取利息	4,229
受取配当金	4,468
債務勘定整理益	983
雑収入	19,220
営業外収益合計	28,902
営業外費用	
支払利息	99,172
社債発行費償却	1,839
雑損失	4,440
営業外費用合計	105,452
経常損失(△)	△30,052
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	664
抱合せ株式消滅差益	152,678
固定資産売却益	47
特別利益合計	153,390

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
特別損失	
減損損失	6,680
固定資産除売却損	14,574
商品廃棄損	3,084
特別損失合計	24,339
税引前四半期純利益	98,998
法人税、住民税及び事業税	4,697
法人税等調整額	△35,265
法人税等合計	△30,568
四半期純利益	129,566

(第2四半期会計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	11,061,491
売上原価	8,393,608
売上総利益	2,667,883
営業収入	
不動産賃貸収入	76,451
運送収入	206,914
営業収入合計	283,366
営業総利益	2,951,249
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	137,350
配送費	179,159
販売手数料	187,093
給料及び手当	499,487
賞与引当金繰入額	119,052
退職給付費用	29,425
役員退職慰労引当金繰入額	2,074
雑給	614,681
水道光熱費	185,169
減価償却費	135,966
地代家賃	240,635
その他	488,291
販売費及び一般管理費合計	2,818,389
営業利益	132,860
営業外収益	
受取利息	1,748
受取配当金	1,702
債務勘定整理益	573
雑収入	10,999
営業外収益合計	15,023
営業外費用	
支払利息	49,537
社債発行費償却	919
雑損失	2,955
営業外費用合計	53,412
経常利益	94,471
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	448
特別利益合計	448

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
特別損失	
減損損失	300
固定資産除売却損	778
商品廃棄損	3,084
特別損失合計	4,163
税引前四半期純利益	90,756
法人税、住民税及び事業税	△5,396
法人税等調整額	37,701
法人税等合計	32,305
四半期純利益	58,451

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	98,998
減価償却費	265,564
長期前払費用償却額	5,610
減損損失	6,680
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,798
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,886
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△35,982
受取利息及び受取配当金	△8,698
その他の営業外損益(△は益)	△15,763
支払利息	99,172
固定資産売却損益(△は益)	△44
固定資産除却損	14,571
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△152,678
その他の特別損益(△は益)	2,420
売上債権の増減額(△は増加)	40,424
たな卸資産の増減額(△は増加)	△41,598
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,963
未払消費税等の増減額(△は減少)	△69,653
預り保証金の増減額(△は減少)	27,751
その他	△155,775
小計	90,719
利息及び配当金の受取額	6,980
その他の収入	19,220
利息の支払額	△98,553
その他の支出	△4,440
法人税等の支払額	△51,940
営業活動によるキャッシュ・フロー	△38,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△740,000
定期預金の払戻による収入	850,072
有形固定資産の取得による支出	△818,086
有形固定資産の売却による収入	95
差入保証金の差入による支出	△10,774
差入保証金の回収による収入	94,707
繰延資産の取得による支出	△24,068
その他	44,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△604,020

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△141,797
長期借入れによる収入	727,500
長期借入金の返済による支出	△1,125,557
リース債務の返済による支出	△96,533
社債の発行による収入	1,000,000
自己株式の取得による支出	△62,900
配当金の支払額	△51,793
財務活動によるキャッシュ・フロー	248,918
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△393,116
現金及び現金同等物の期首残高	995,479
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	77,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	680,235

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

- ① 当社は、平成22年8月19日開催の取締役会において自己株式を取得することを決議し、平成22年8月20日に普通株式170,000株、総額62,900千円を取得いたしました。
- ② また当社は、平成22年8月25日開催の取締役会において自己株式を消却することを決議し、平成22年8月30日に普通株式322,569株を消却いたしました。
- ③ この結果、当第2四半期累計期間において、8月20日付で自己株式が62,900千円増加し、8月30日付で資本剰余金及び自己株式がそれぞれ114,043千円減少しております。最終的に当第2四半期末現在、資本剰余金は351,215千円計上されており、自己株式は計上されておられません。

4. 補足資料

「参考資料」

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		前連結会計年度末に係る 連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		1,923,423
受取手形及び売掛金		293,747
商品及び製品		1,590,424
原材料及び貯蔵品		34,084
繰延税金資産		73,088
その他		499,930
貸倒引当金		△600
流動資産合計		4,414,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物		9,282,646
減価償却累計額及び減損損失累計額		△5,587,818
建物及び構築物（純額）		3,694,828
車両運搬具		14,409
減価償却累計額及び減損損失累計額		△14,079
車両運搬具（純額）		329
土地		7,236,322
リース資産		660,337
減価償却累計額		△213,743
リース資産（純額）		446,593
建設仮勘定		10,098
その他		487,911
減価償却累計額及び減損損失累計額		△441,485
その他（純額）		46,425
有形固定資産合計		11,434,598
無形固定資産		
ソフトウェア		3,851
電話加入権		18,228
無形固定資産合計		22,080
投資その他の資産		
投資有価証券		197,122
繰延税金資産		448,632
差入保証金		2,395,308
その他		158,175
投資その他の資産合計		3,199,238
固定資産合計		14,655,916
繰延資産		
社債発行費		9,862
繰延資産合計		9,862
資産合計		19,079,877

(単位:千円)

前連結会計年度末に係る
連結貸借対照表
(平成22年2月28日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	3,210,210
1年内償還予定の社債	600,000
短期借入金	3,758,710
1年内返済予定の長期借入金	899,313
リース債務	171,936
未払法人税等	71,707
賞与引当金	112,619
その他	992,989
流動負債合計	9,817,486
固定負債	
社債	500,000
長期借入金	2,920,386
リース債務	280,151
退職給付引当金	819,080
役員退職慰労引当金	263,624
その他	389,550
固定負債合計	5,172,792
負債合計	14,990,278
純資産の部	
株主資本	
資本金	641,808
資本剰余金	465,258
利益剰余金	3,031,391
自己株式	△51,143
株主資本合計	4,087,315
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,283
評価・換算差額等合計	2,283
純資産合計	4,089,599
負債純資産合計	19,079,877

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	22,537,003
売上原価	17,110,424
売上総利益	5,426,579
営業収入	
不動産賃貸収入	125,619
運送収入	420,223
営業収入合計	545,842
営業総利益	5,972,422
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	310,965
配送費	353,903
販売手数料	364,579
給料及び手当	1,014,302
賞与引当金繰入額	224,159
退職給付費用	59,345
役員退職慰労引当金繰入額	6,504
雑給	1,255,130
水道光熱費	352,596
減価償却費	271,024
地代家賃	527,009
その他	1,105,563
販売費及び一般管理費合計	5,845,085
営業利益	127,337
営業外収益	
受取利息	5,685
受取配当金	3,179
債務勘定整理益	1,627
雑収入	19,285
営業外収益合計	29,778
営業外費用	
支払利息	98,340
雑損失	1,130
営業外費用合計	99,471
経常利益	57,644
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	4,000
固定資産売却益	220
特別利益合計	4,220
特別損失	
固定資産除却損	2,810
投資有価証券評価損	4,000
減損損失	480
特別損失合計	7,290
税金等調整前四半期純利益	54,574
法人税等	43,722
過年度法人税等	7,515
四半期純利益	3,336

（第2四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結会計期間 （自 平成21年6月1日 至 平成21年8月31日）
売上高	11,322,095
売上原価	8,578,523
売上総利益	2,743,572
営業収入	
不動産賃貸収入	64,128
運送収入	208,411
営業収入合計	272,539
営業総利益	3,016,112
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	157,005
配送費	178,800
販売手数料	182,309
給料及び手当	502,272
賞与引当金繰入額	142,623
退職給付費用	28,889
役員退職慰労引当金繰入額	2,246
雑給	623,688
水道光熱費	166,535
減価償却費	135,673
地代家賃	262,065
その他	506,114
販売費及び一般管理費合計	2,888,223
営業利益	127,888
営業外収益	
受取利息	2,258
受取配当金	1,363
債務勘定整理益	1,222
雑収入	10,411
営業外収益合計	15,255
営業外費用	
支払利息	49,223
雑損失	574
営業外費用合計	49,797
経常利益	93,346
特別利益	
賃貸借契約違約金収入	4,000
特別利益合計	4,000
特別損失	
固定資産除却損	769
投資有価証券評価損	4,000
減損損失	480
特別損失合計	5,249
税金等調整前四半期純利益	92,096
法人税等	32,595
過年度法人税等	7,515
四半期純利益	51,985

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	54,574
減価償却費	271,024
長期前払費用償却額	3,903
減損損失	480
貸倒引当金の増減額（△は減少）	25
賞与引当金の増減額（△は減少）	29,087
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,802
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△32,216
受取利息及び受取配当金	△8,865
その他の営業外損益（△は益）	△19,782
支払利息	98,340
固定資産売却損益（△は益）	△220
その他の特別損益（△は益）	△4,000
固定資産除却損	2,810
投資有価証券評価損益（△は益）	4,000
売上債権の増減額（△は増加）	△7,920
たな卸資産の増減額（△は増加）	138,168
仕入債務の増減額（△は減少）	△110,759
未払消費税等の増減額（△は減少）	13,878
預り保証金の増減額（△は減少）	△3,258
その他	△3,558
小計	435,514
利息及び配当金の受取額	6,586
その他の収入	19,285
利息の支払額	△106,731
その他の支出	△1,130
法人税等の支払額	△103,283
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△720,000
定期預金の払戻による収入	800,000
有形固定資産の取得による支出	△51,278
有形固定資産の売却による収入	220
差入保証金の差入による支出	△20,651
差入保証金の回収による収入	34,492
その他	△5,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△831,840
長期借入れによる収入	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△403,257
リース債務の返済による支出	△119,783
配当金の支払額	△66,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	△421,367
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△134,258
現金及び現金同等物の期首残高	878,455
現金及び現金同等物の四半期末残高	744,197